



臨床工学技士による臨床現場の「困りごと」から製品開発・研究業績へ

第4回 臨床工学・産学連携マッチング会

参加者募集

・ 医工連携に興味ある方 ・ 臨床ニーズのご発表を考えている方

【開催概要】

日時

2021年2月4日(木) 18:00~20:00

会場

Web オンライン (ZOOM ウェビナー)

参加費

無料

参加申し込み先

参加申し込み先

東京都臨床工学技士会ホームページまたはQRコード

東京都医工連携HUB機構（東京都）が契約しているZOOMウェビナーを使用しています。



【プログラム】

18:00-18:10 開会挨拶 東京都臨床工学技士会 会長 酒井 基広

東京都産業労働局商工部創業支援課 技術調整担当課長 植野 史央

18:05-18:15 イントロダクション 東京都医工連携HUB機構 プロジェクトマネージャー 柏野 聡彦

18:15-19:55 臨床ニーズ発表（発表順番不同）

- ・ 佐世保中央病院
- ・ 美しが丘クリニック

・ 日本大学病院

・ 東京医科歯科大学医学部附属病院

・ 東京医科歯科大学医学部附属病院

・ 国立長寿医療研究センター

・ 聖隷三方原病院

・ 国立成育医療研究センター

前田 博司 氏(2テーマ)

藤井 茂人 氏

三木 隆弘 氏

桜沢 貴俊 氏

山内 大輔 氏

若松 浩 氏

保科 充紀 氏

片岡 怜 氏

臨床ニーズの詳細は
下記QRコードから
ご覧いただけます。

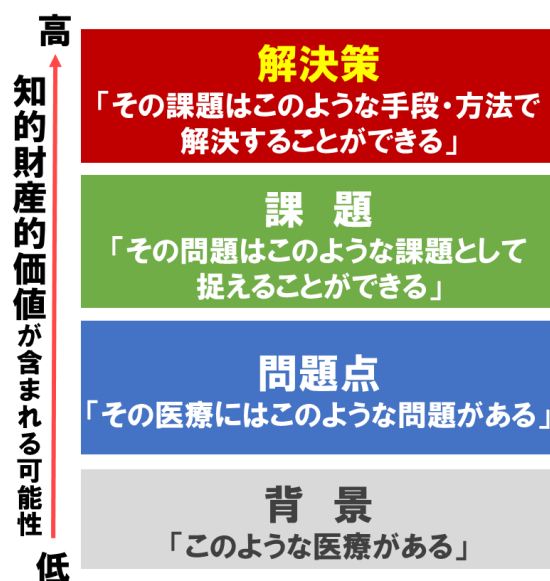
19:55-20:00 講評・閉会挨拶 東京都臨床工学技士会 医工連携部会長 仲條 麻美

臨床工学・産学連携マッチング会ニーズ 発表形式

スライドは1枚で背景と問題点のみ、課題や解決策など知的財産的価値のある情報は発表できません。

スライド発表例

2020年9月15日 臨床工学・産学連携マッチング会 提案者:〇〇病院 臨床工学技士 ■■■ ■■■		デバイス開発で解決したい問題点 この問題を解決したい
〇〇できない/〇〇になってしまう(問題点)		
ここに、 「臨床現場の問題点 が伝わる写真」 を掲載する 現場の臨場感・重要性・緊急性・迫力 が伝わる写真を掲載する	「問題点に関連する 現行のデバイスの写真」	
出典:〇〇〇〇	出典:〇〇〇〇	
〇〇〇(写真の説明)		〇〇〇(写真の説明)
年間患者数〇〇人、年間実施件数〇〇件、予想単価〇〇円 ...		



発表前の流れ

臨床ニーズの応募
ニーズ要約

臨床ニーズの査読^{※1}

東京都臨床工学技士会 医工連携部会

※1 臨床ニーズをブラッシュアップします、ものづくり
・製販企業の方々に向けて、問題点の明確化や
医療用語を分かりやすい文章に修正します。

東京都医工連携HUB機構HP掲載^{※2}

※2 その他、東京都医工連携HUB機構登録会員
約1,800機関(企業・研究機関)に向けてメール
マガジンを配信し、臨床ニーズをお知らせします。

第4回 臨床工学・産学連携マッチング会
臨床工学技士から臨床ニーズを発表

発表後の流れ

第4回 臨床工学・産学連携マッチング会
臨床工学技士から臨床ニーズを発表

マッチング^{※3}

臨床工学技士 × 製販企業 × ものづくり企業

※3 秘密保持契約(NDA)締結後、ニーズの課題や
解決策など知的財産的価値の情報を交換する。
ニーズから製品化につながる確率を高めるため
製販企業・ものづくり企業と開発テーマを作る。

公的資金申請・獲得^{※4}

申請者＝ものづくり企業

※4 東京都中小企業振興公社
医療機器産業参入促進助成事業
(事業化助成金または開発着手助成金)

東京都中小企業振興公社

医療機器産業
参入促進助成事業

年3回公募

事業化助成

上限 5,000万円

助成率2/3

期間 交付決定から5年

開発着手助成

上限 500万円

助成率2/3

期間 交付決定から1年

共同研究開発・製品化

【後援申請中】



公益社団法人 日本臨床工学技士会
Japan Association for Clinical Engineers